



# 石巻広域クラブ通信 <No.91>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI  
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER  
KyuEikoyochienchina2-12-3, Okaidokita,  
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3  
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター  
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2024年3月号

E-mail: [gishinomaki@gmail.com](mailto:gishinomaki@gmail.com)

E-mail: [koichi1839@outlook.jp](mailto:koichi1839@outlook.jp)

== 2023-2024年度 主題 ==

クラブ会長 青木満里恵「会員同志の親睦を深め、地域に奉仕しよう！」  
北東部部長 大久保知宏(宇都宮)「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」  
東日本区理事「未来のために今、学びと気づきを！未来のために自信を育み、真の喜びに出会う」  
アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越)「変革のための光となろう」  
国際会長 Ulrik Lauridsen (Denmark)「輝かそう、あなたの光を」

<今月の聖句>

「神はわたしたちの避けどころ、  
わたしたちの砦。苦難のとき、必ず  
そこにいまして助けてくださる」  
(詩編 46:2)

<強調月間> CS・Green Project・ワイズメネット

## 2024年3月第一例会プログラム

日時 3月11日(月) 12:30~14:00

場所 YMCA 石巻センター

月当番 斎藤勉・千葉徳正

<プログラム>

- 司会: 川上書記
1. 開会点鐘 会長 青木満里恵
  2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
  3. ゲスト・ビジター紹介 副書記
  4. 会長あいさつ 会長 青木満里恵
  5. 食前感謝 仙台青葉城クラブ 阿部 頌栄
  6. 昼食と懇談 一同
  7. ゲストスピーチ  
3DBC 神戸ポートクラブ会長 北島 伸三 様  
テーマ: チャリティーコンサート 2024 の開催について 「世界に平和を! 若者に未来を!」
  8. 諸報告とアピール 担当  
(1) YMCA 報告 (2) 神戸と石巻を繋ぐチャリティーコンサート (3) 第27回東日本区大会参加申し込みについて (4) その他アピールなど
  9. 自由献金 「能登半島地震支援活動のために」
  10. ハッピーバースデー 会長  
2日: 青木満里恵さん、12日: 小笠原均さん  
20日: 阿部かよ子さん、30日: 木村麻呼さん
  11. 閉会挨拶と点鐘 ファンド事業委員長 大林健太郎

## 東日本大震災から13年を覚えて

~3.11追悼礼拝と感謝の会~



石巻広域ワイズメンズクラブ  
会長 青木 満里恵

東日本大震災から13年経ちました。石巻広域圏(2市1町)では確認されている人的被害だけでも死者5,301人、行方不明者696人、計5,997人の貴い命が奪われました。風化が叫ばれるなか私たちはここに集いました。今、改めて周囲を見回して見ます。

2011年からの日々の中に福島第一原発事故など哀しい事故が続き、そして13年を数えようとしていた本年1月1日午後4時10分、石川県能登半島沖を震源とする巨大地震が発生しました。地震は津波を呼びやはり、大きな被害をもたらしました。被災された方々と支援者のために、ともに祈りを合わせました。

私たちは、東日本大震災が発生した午後2時46分の時刻に合わせ「3.11追悼礼拝と感謝の会」を全国のワイズ・YMCA関係者、地元の方、オンライン参加者とともに持つことができました。東日本大震災の苦しみの中から得られた教訓を、少しでも、この新しい被災地に活かせればと、強く願っております。

■ 2月データ / 3月号内容: 例会プログラム・巻頭言、2月例会報告、3月例会報告、3.11追悼礼拝と感謝の会報告、3.11への想いをメッセージに! ティラー文庫の寄贈、YMCA報告、ボランティア感謝会、クラブスケジュール、東日本区十勝大会など

会長 青木 満里恵  
副会長 関川 祐一郎  
〃 姉齒 一紀  
書記 川上 直哉  
会計 櫻井 美智江  
直前会長 日野 峻  
担当主事 斎藤 勉

2月例会出席	11名	在籍会員数	18名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	8名	月間出席者	9名	スマイル	3,000円	55,709円
ビジター・メネ	0名	メーカーキャップ	0名	ファンド	0円	21,540円
ゲスト・コメ	3名	月間出席率	50%	BF	0円	0円

## 2月第一例会報告

日時 2024年2月22日(木) 18:30~20:30  
場所 YMCA 石巻センター (オンライン)  
出席者 青木満里恵、阿部かよ子、大林健太郎、川上直哉  
齋藤勉、櫻井美智江(MC)、清水弘一、関川祐一郎  
日野峻 <ゲスト>堀越祥浩さん(仙台 YMCA)  
石井龍子、加藤雄一(総主事)

### <プログラム>

1. 開会点鐘 会長 青木満里恵
  2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
  3. ゲスト・ビジター紹介 副書記
  4. 会長あいさつ 会長 青木満里恵
  5. 食前感謝 ZOOMにより省略
  6. 食事と懇談 同上
  7. ゲストスピーカー  
仙台 YMCA 健康事業部 堀越祥浩 様  
テーマ:「能登半島地震 1.5次避難所運営に参加して」
  8. 諸報告とアピール 担当  
(1) YMCA 報告 (2) 3.11 追悼礼拝と感謝の会  
について (3) 神戸と石巻を繋ぐチャリティー  
コンサートの件 (4) ピンクシャツデーのアピ  
ール (5) その他
  9. ニコニコ ZOOMにより省略
  10. ハッピーバースデー 会長  
11日: 姉齒一紀さん、15日: 日野峻さん
  11. 閉会挨拶と点鐘 次期会長 関川祐一郎
- <例会報告> 書記 川上直哉

2024年2月22日(木) 午後6時半から、YMCA 石巻センターにて、例会が行われました。通常「第四金曜日」なのですが、2月は祝祭日となっておりましたので、「一日はやく」行う事にしました。

ところがこの日、石巻地方は21日夜から22日朝にかけて大雪となったため、高速道路は事故多発、JRは運休で動かず、急遽、関係者で協議、オンラインのZOOM方式で開催することになりました。(3p 記事参照)



仙台 YMCA の堀越さんも ZOOM 参加、能登半島地震支援の報告をいただきました。今回、能登の震災では「東日本大震災の教訓が活かされていない。」という批判をたくさん聞きます。まさにその通りの現地であったことを、深刻に知らされました。

その中で、しかし、YMCA の(あるいは堀越さんのご活躍が輝いたことも、とてもよく分かりました。行政の都合で「縦割り」に事柄が進み、「無難」に終始するために、人のいのちが脅かされる。<次ページにつづく>

そんな現場をたくさん見た私たちですが、その問題が、さらに露骨に現れていることに、私たち被災者の「責任」を思いました。「伝えなければならない」という責任です。

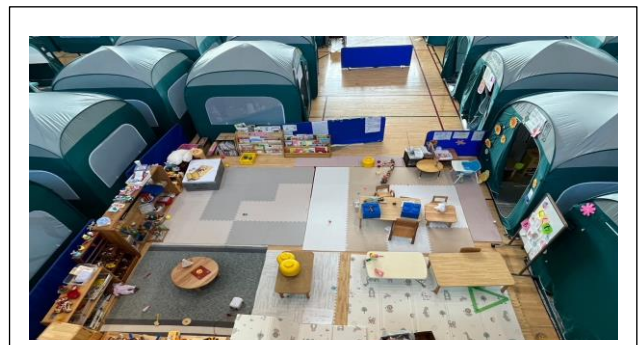
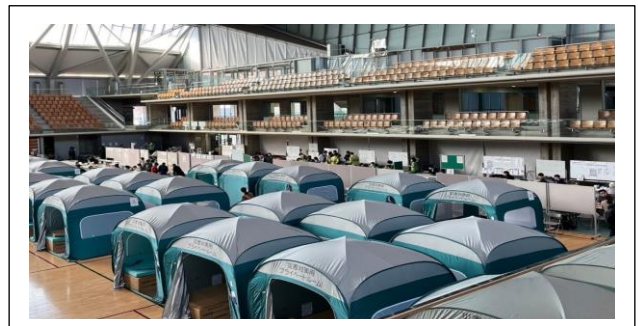
今回と同じお話を、堀越さんは、2月15日にも仙台青葉城クラブの例会で、なされたそうです。これをオンラインでつなげば、一度にできた上、仙台青葉城クラブとの意見交換もできたのに・・・と、今後の課題も見つけた2月の例会でした。

### <1.5次避難所の状況>

#### 全国YMCA 能登半島地震被災地支援概要

全国YMCA被災地支援活動の概要

- ①金沢1.5次避難所運営アドバイザー  
2月以降も延長、2~3名のスタッフをリレー形式で派遣中
- ②輪島市避難所運営サポート  
東京YMCAを中心に避難所  
(2ヶ所/町野小学校・東陽中学校)  
運営支援中



#### いしかわ総合スポーツセンター 1.5次避難所 概要

サブアリーナ: 一時待機ステーション2Bエリア (要介護)  
(テント45張、最大キャパ90) →現在13張26名増設中



## <3.11 追悼礼拝と感謝の会報告>

例会の後、「3.11」の催事となりました。会場を園舎2階ホールから礼拝堂に移し、仙台YMCAの吉永さんのオルガン、福島主のあしあとキリスト教会の大島牧師(元 さいたまYMCA理事)の説教で、「追悼礼拝」を行いました。過去の反省を活かし、いろいろな工夫を凝らしまして、今回は「時間ぴったり」に黙祷を合わせることができました。次回に繋げたいと思います。

「追悼礼拝」の後、そのまま礼拝堂で、「感謝の会」を持ちました。「3.11 みんなの文庫」の皆さんが、ふたつの絵本の読み聞かせをしてくださいました。一つは「第一次世界大戦」を主題とした『戦争をやめた人たち』、もう一つは子どもの原発疎開を主題とした『はしるってなに』でした。地震と津波の傷跡が深い被災地・石巻の「3.11」を、能登の被災地や戦争そして原発被災の現場に繋げて行きたい。そんな願いを込めての選書でした。

この催事を通じて、Zoomで自由にどこからでも参加いただけるように工夫しました。Zoomの接続先だけでも、20件を超えていました。その先には仙台YMCAや東京YMCAがあり、複数人で参加して下さるケースもありました。従いまして、この日の催事には、おそらく70名くらいの方が、全国から断続的に参加されたのだと思います。こうして、少しでも「風化」に抗う。そのことが、被災地の明日につながると思います。14年目の被災地。新しい歩みを踏み出す、大切な2024年3月11日でした。(参加者の皆さまから13年間の想いを寄せ書きにいただきました。石巻センターの事務所に掲示しております。)

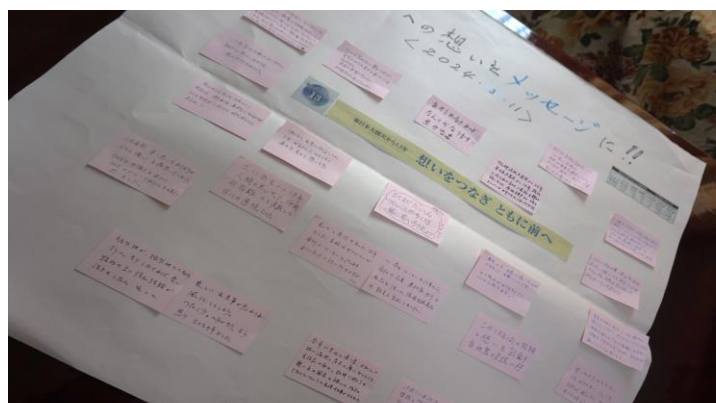
3.11に沢山の命が失われました。13年たっても残念でなりません。今後は前を向いてがんばっていきましょう！

### 3.11への想いをメッセージに！！

～ 想いをつなぎ ともに前へ～

この13年間の経験と想いを能登半島地震の支援活動に活かそう！  
3DBCの想いをともに示そう！

あきらめなければなんとかなります!!  
生きる ☺ . . .



あれから13年目になりましたね。亡くなられた皆様の慰霊と鎮魂を続けて参りましたが、生きている皆様(我々?)の末永い幸せも祈念致します。まだ苦しみの中にいらっしゃる方々の少しでも安らかに幸せに向かわれますよう ♡

3.11を忘れない。妻をさがしに、長男をさがし歩きに歩いたことをわすれない。津波の来襲を忘れない。あの悲げきを決して忘れない

被災地が、被災地とつながるように。そうしなければ  
貴い犠牲の上に得た経験が生きてこない。そして哀しい  
出来事が忘れられ・風化してしまう。

つなごう。つながろう。そう思う2024年でした。

まだまだたいへんつらいことが多くても一緒に前へ歩きましょう。

震災から13年、たくさん  
の出会いが与えられ、石巻の地に生きることが許され感謝。与えられた出会いを大切にしながら、さらに前進して行きたい。

いつも忘れる事はありません。神戸と共にこれからも進んでいきましょう。

色々と変化のあった13年でした。当時はサラリーマンで女川にコーヒーを入れるボランティアに行ったのですが、今やコーヒーを仕事にし、自社で石巻・東松島・女川の産品を使った復興支援商品の販売も実現しました。

あつという間の13年の月日の流れの中で、一人一人いろんな歩みからどんな時にも前を向いてこれからも邁進できますこと祈り合わせたいと思っております。

早いようであった13年という月日は、街並みは真新しくなりましたが、心の平安が一日でも早く与えられますように。

3月11日を石巻で迎えることがき、みなさんとひととき過ごせる幸せを感じます。

東京から来た私をいつも温かく迎えてくださりありがとうございます。音楽を通して「心の復興」を目指す活動も9年目になりますが、まだまだ続けていこうと思います。

～私たちはあの日を忘れない～  
つらい苦しい記憶は後世への貴重な教訓としてみんなで協力して残して行く！皆が悲しまないように。

震災の日石巻で過ごすことができること有難い事です。主の慰めがありますように心から祈ります

< 礼 拝 >

(14:30~15:10)

司会 川上直哉  
説教 大島博幸  
(福島主のあしあと教会 牧師)  
奏楽 吉永肇子

1. 前奏
2. 招きのことば 「慰めよ、慰めよ、私の民を——と、あなたがたの神は言われる。」(イザヤ書 40:1)
3. 讃美歌 ウクライナ民謡による「キリエ・エレイソン (主よ あわれみたまえ)」(希・日二回ずつ)
4. 祈り 「2024年3月11日 東日本大震災から13年を数えて——東日本大震災を振り返って」
5. 讃美歌 フィンランディアによる「やすかれ わがこころよ」(1節のみ)
6. 聖書朗読 ルカによる福音書7章1~10節

「イエスは、民衆の聞いている所でこれらの言葉をすべて話し終えてから、カファルナウムに入られた。<sup>2</sup>ところで、ある百人隊長に重んじられている僕が、病気で死にかけていた。<sup>3</sup>イエスのことを聞いた百人隊長は、ユダヤ人の長老たちを使いに来て、僕を助けに来てくださるように頼んだ。<sup>4</sup>長老たちはイエスのもてに来て、熱心に願った。「あの方は、そうしていただくのにふさわしい人です。<sup>5</sup>私たちの国民を愛して、会堂を建ててくれました。」<sup>6</sup>そこで、イエスは一緒に出かけられた。ところが、その家からあまり遠くない所まで来ると、百人隊長は友人たちを送って言われた。

「主よ、ご足労には及びません。私はあなたをわが家にお迎えるような者ではありません。<sup>7</sup>それで、私のほうからお伺いすることもいたしませんで。ただ、お言葉をください。そして、私の僕を癒やしてください。<sup>8</sup>私も権威の下に服している人間ですが、私の下には兵隊がおり、一人に『行け』と言えば行きますし、他の一人に『来い』と言えば来ます。また、僕に『これをしろ』と言えば、そのとおりにします。」「イエスはこれ聞いて驚き、付いて来た群衆の方を振り向いて言われた。「言っておくが、イスラエルの中でさえ、これほどの信仰は見たことがない。」<sup>10</sup> 使いに行っただけの人が家に帰っていると、僕は元気になっていた。

7. 説教 「互いの痛みを感じとる心」
8. 讃美歌 「球根のなかには」
9. 派遣 「神のめぐみ ゆたかに受け」
10. 祝祷 大島牧師
11. 後奏



↑ 福島主のあしあと教会大島牧師



↑ 礼拝会場

<14時46分のサイレン>

(3.11 発生時刻に合わせて)

たくさんの祈りの課題を覚え、被災の方々や世界で新たに起こる苦難の方々と共に祈りつつ、支え合い、子どもたちにこの経験を伝えながら心を高く上げ、前に向かってすすむことができますよう、主よ、導いてください。そして主よ、あなたの平和が実現しますように。私たちの信仰をいつも新しく、希望に生きる者としてください。

救い主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン

祈り 「2024年3月11日 東日本大震災から13年を数えて——東日本大震災を振り返って」

2011年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖地震の災害と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故による被災の「東日本大震災」から13年になります。地震の規模はマグニチュード9.0、最大震度7を観測しました。日本観測史上最大の地震であり、東北地方太平洋沿岸部を中心に、広範囲に被害をもたらしました。そして巨大な津波が起こりました。さらに、原子力発電所が爆発事故を起こしたのです。

確認されている人的被害だけでも、死者18,131人、行方不明者2,829人にも上る甚大なものとなりました。住宅の全壊は約12万9千棟、半壊約26万5千棟、一部破損約74万3千棟、津波浸水被害約3万6千棟に及びました。火災も1都1道11県で累計330件発生し、ライフラインが停止し、道路・鉄道等も被害を受けました。そして、東京電力福島第一原子力発電所が爆発事故を起こしたのです。高濃度の放射性物質が上空と太平洋に放出されました。「原子力緊急事態宣言」が発令され、広範囲の住民の避難が行われました。この宣言は今も発令中です。未だに多くの人々が地元を離れたままに、避難生活を余儀なくされています。そのような中、2023年11月現在で全国47都道府県の852市町村に、約3万人に方々が避難生活をされ、同年3月末の統計では、1都9県での震災関連死者が3,794人にも及びます。

13年を数える今日、私たちはここに集いました。今、改めて周囲を見回してみます。

感謝なことに、「復興」の名のもとに被災の各地は大きく変わりました。確かに道路が新しくなり、巨大な防潮堤や高台に新しい住宅ができました。しかし、家族や故郷を失った悲しみや痛み、壊されたコミュニティーや放射性物質によって汚染された土地、水、急速に進む高齢化などの故郷の現状は、今まさに、大きな課題として人々にのしかかっています。特に福島では、放出された放射性物質による高い放射線の影響が、13年経った今も、強くあります。確かに街の「除染」は進みました。

感謝なことです。しかし、山林は除染できないのです。目に見えず、おいてもない放射能によって、そこそこに放射線量の高い場所「ホットスポット」が存在しています。「直ちに健康被害が出ることはない放射線量」と言われます。しかし神様、低線量でも長期にわたって被曝する不安が、ぬぐえないのです。13年前に子どもだった方々、そして現在の子どもたちは、どうしているのでしょうか。「低線量被曝による健康被害の有無を、私たちはこれからも見届ける責任があると思います。

事故を起こした東京電力株式会社は、私たちの国の会社です。福島第一原子力発電所の事故によって生じた「汚染土・汚染水」の処理には、何十年、いや数百年の時間がかかるようです。高線量の放射線に阻まれ、事故現場の「虎の穴」は、まったく計画通りに進んでいません。そして、大きな地震が、激しく傷んだ福島原子力発電所を、何度も揺すぶっています。現場の懸命な措置にもかかわらず、なお危険を抱えたままの東京電力福島第一原子力発電所です。なるほど、「原子力緊急事態宣言」は発令中なのです。しかし私たちは、その緊張を保つことができません。

2011年からの日々の中に、各地で良い出来事が続きました。そして13年を数えようとしていた2024年1月1日午後4時10分、石川県能登半島沖を震源とする巨大地震が発生しました。マグニチュード7.6、最大震度7、能登地方を中心に北陸の広い範囲で震度6弱以上の揺れを観測し、能登半島にある志賀原発にも、大きな影響が及びました。地震は津波を呼び、やはり、大きな被害をもたらしました。被災された方々と支援者のために、今、共に祈りを合わせます。東日本大震災の苦しみの中から得られた教訓を、少しでも、この新しい被災地に活かされればと、強く願って、祈ります。

<感謝の会>

(15:15~16:00)

司会 清水 弘一

1. ハープ演奏

石井龍子 石巻栄光教会役員

曲目:「庭の千草」/アイルランド民謡

2. 主催者あいさつ

石巻広域クラブ会長 青木 満里恵

3. 共催者代表あいさつ

(1) 公益財団法人仙台 YMCA 総主事 加藤 雄一 様

(2) ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区理事 山田 公平 様

4. 特別プログラム

震災絵本の読み聞かせ紹介

「3.11 みんなの文庫の会」の皆さん

▼「戦争をやめた人たち」



鈴木まもる  
文・絵

▼「はしるってなに」



和合亮一/文  
きむらゆういち/絵

5. 出席者の紹介

司会者

6. 閉会のことば

4 ワイズメンズクラブ連絡会議代表 菅野 健

(仙台・仙台青葉城・仙台広瀬川・石巻広域クラブ)

以上



石井龍子さん



教会礼拝堂



加藤 YMCA 総主事



東日本区山田理事



菅野 4 クラブ代表



青木クラブ会長



南浜がんばろう！石巻追悼会場

仙台 YMCA 総主事  
加藤雄一

ティラー 文庫の寄贈

<テイラー・アンダーソン記念基金より、テイラー文庫が寄贈>

3月15日(金)、仙台YMCA国際ホテル専門学校学生支援室にテイラー・アンダーソン記念基金より、テイラー文庫が寄贈されました。(→写真左より3人目が製作者の遠藤伸一氏)

寄贈者であるテイラー・アンダーソン記念基金は、東日本大震災で亡くなった石巻の英語教師テイラー・アンダーソンさんの遺志をつなげようとしてご両親であるアンダーソンご夫妻が呼びかけにより始められたもので、震災後まもなくその活動を開始しています。

2011年7月、テイラーさんのお父さんのアンディさん、日本YMCA同盟の島田総主事とSkypeでミーティングを行いました。仙台YMCA国際ホテル専門学校の学生たちのために奨学金を準備してくださるとの内容でした。2013年度の入学生から、学費の一部を支援していただき現在まで続いています。

今振り返れば、娘を亡くしたばかりの時期に娘の遺志を継ごうと活動をすぐに始められたご夫妻は本当に強いお気持ちをお持ちであることに敬服いたします。文庫を製作している遠藤さんもお子様を3名亡くされましたが、前向きに生きる力を与えたのもご夫妻のこの生き方だと伺いました。

I grew up going to the YMCA and my wife and I had our first date at the YMCA when we were 15. My children all grew up going to the YMCA and Jeanne and I have spent many hours exercising at the Y. (私はYMCAで育ち、私と妻は15歳のときにYMCAで初めてデートをしました。私の子供たちはすべてYMCAで育ち、ジェーンと私はYで何時間も運動をして過ごしました。) 2011年6月14日のアンディさんからのメールよりアンダーソンさんご一家とYMCAとの関わりは震災前から、そしてこれからもずっと続いています。テイラー文庫は、いろいろな思いが詰まったものであることを伝承していきたいと思ひます。



担当主事 斎藤 勉

(1) 能登半島地震緊急支援募金

能登半島地震緊急支援募金活動第2弾を3月3日(日)に三越前にて実施しました。13:00~15:00の時間で30名程の方々が参加し、募金の呼びかけを行いました。時折YMCAのメンバーや保護者、会員のみなさまも足を止めて募金をしていただきました。この日は風も強く飛ばされそうになった場面もあったみたいですが無事に終わることができました。募金額は132,776円でした。

(2) 野外活動(アドベンチャー・ジュニア・クラブ)最終活動

3月2日(土)~3日(土)の日程で2023年度最後の活動をYMCA立町会館にて祝活動を行いました。宿泊組28名、日帰り組22名、リーダー9名、スタッフ2名の参加となりました。2日は買い出し、カレー作り、ゼスチャーゲーム等を楽しみました。3日は電車で女川まで行き、震災を知らない子どもたちと一緒に、旧女川警察署(遺構)を見たり、新しくなった街並みを散策したり、公園で思いっきり遊んできました。最後は卒業式&記念品の贈呈をした後、解散となりました。

2023年度仙台YMCA

ボランティア感謝会

3月17日(日)午後2時30分より2023年度のボランティア感謝会が立町会館4階ホールにて行われました。今年の卒業生は9名、現役の大学生ボランティア、健康事業部のスタッフ、ワイズメンなど約30名が参加しました。川上牧師による奨励に続き加藤研ユースボランティア委員長より感謝状と記念品が渡されました。その後、ボランティア活動の紹介や卒業生のスピーチがあり、最後は3テーブルに分かれてボランティアの皆さんと楽しく懇談しました。



■クラブスケジュール(4月~6月)

プログラム名	月日	場所
ランドセル運搬(クラレ)	4月1日(月)	石巻センター
4月拡大役員会(変更)	4月5日(金)	石巻センター
YMCA ストレッチヨガ	4月17日(水)	新蛇田集会所
4月第一例会(変更)	4月19日(金)	石巻センター
神戸と石巻を繋ぐチャリコンサートと被災地報告	4月27日(土)・28日(日)	神戸聖愛教会
5月拡大役員会	5月10日(金)	石巻センター
第27回東日本区大会	5月31日(金)~6月1日(土)	十勝プラザ/日航ノウスランド
6月拡大役員会	6月14日(金)	石巻センター
6月第一例会	6月28日(金)	未定

お知らせとご案内

「思い出のランドセルご案内ギフト」実行委員会だより第3号が東日本区のホームページに掲載されました。2022年1月にスタートした実行委員会も2年を経過しましたが、アフガニスタンへの子どもたちへ贈る運動とともにモンゴルやネパールの子どもたちへと広がり見せています。掲載ページは以下の通りです。

<https://ys-east.or.jp/news/part-club/3597>

石巻と神戸を繋ぐチャリティーコンサート

チャリティーコンサート  
世界に平和を!若者にみらいを!

<日時> 2024年4月27日(土)

午後2時~4時(1時30分開場)

<会場> 日本キリスト教団神戸聖愛教会

神戸中央区生田町1-1-27 Tel.078-221-7547



<プログラム>

オープニング: ピアノ演奏: 杉本 将大  
(カレッジ・アンコラージュ)

第1部: 合唱: 兵庫県立長田高等学校音楽部  
被災地支援報告(石巻・海外)



第2部: フルートとピアノ  
吉岡 美恵子&関口康祐  
神戸ポートクラブ活動報告



<チケットは: 神戸YMCA三宮会館か神戸聖愛教会でお求めください。大人2,000円中学生以下1,000円>

また、QRコードを読み取ってメールまたは下記電話にてお申し込みください

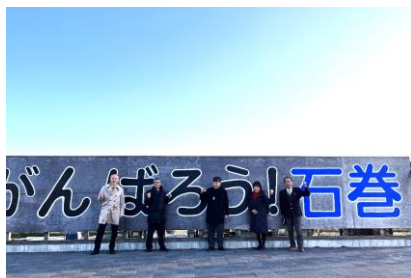
当日会場にて精算の上、チケットをお渡しします。



主催: 神戸ポートワイズメンズクラブ  
担当: 大野 勉 TEL 090-9706-2298  
後援: 神戸YMCA



3月11日午前、神戸ポートクラブメンバー5名（北島会長、大野勉・大野智恵・山田滋己・田代雅彦ワイズ）と十勝クラブ山下真ワイズは、「3.11 追悼礼拝と感謝の会」を前に被災地を訪れたときの写真↓です。改めて13年の時の流れ速さを感じました。



↑石巻最大被災地南浜地区「がんばろう!石巻」

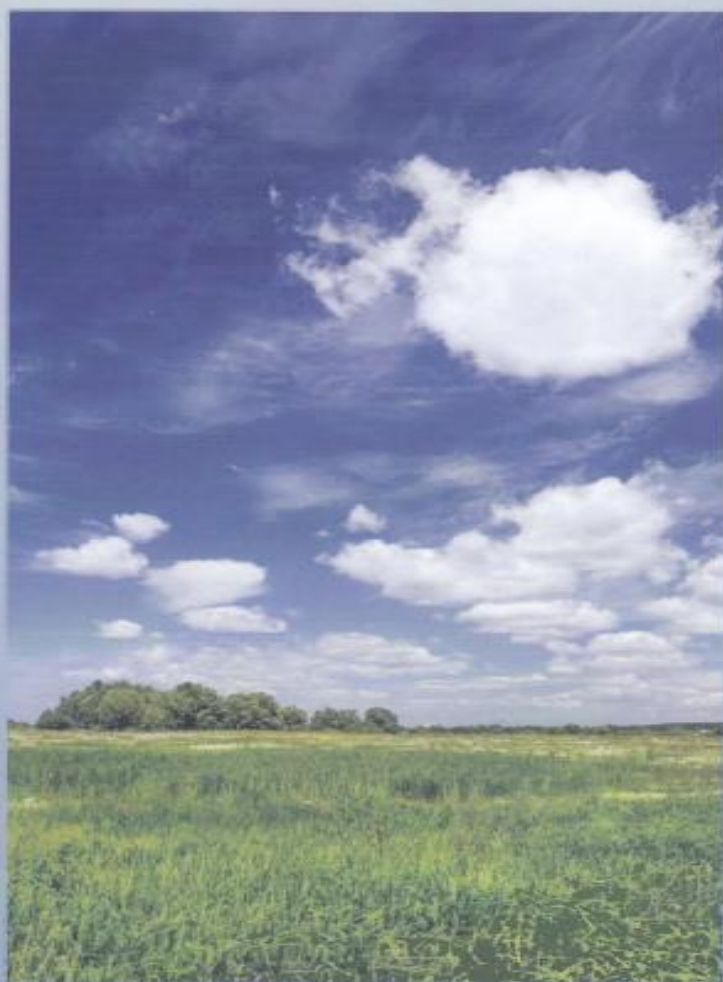


↑84名の犠牲者を出した旧大川小学校



↑2016年2月に建立した津波の教え石

# ワイズメンズクラブ国際協会 第27回東日本区大会



DATE

2024年  
6月1日(土)  
前夜祭 5月31日

LOCATION

北海道帯広市  
とちろじや  
ホリル日航J-エアポート帯広



とちろに行かなきゃワイズじやない。  
とちろから十勝に行こう!

ホストクラブ 十勝ワイズメンズクラブ  
協力クラブ 札幌ワイズメンズクラブ・北見ワイズメンズクラブ